

放課後等デイサービス やまっこクラブ 平成30年3月作成

事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

		はい	どちらとも いいない	いいえ	
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準は満たしているが、利用状況によりスペースが狭く感じる時がある。グループを分ける等の工夫をして改善していく。
2	職員の配置数は適切であるか	○			利用者の人数により職員の配置数を決めている。
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		配慮が必要な児童の保護者には事前に説明のもと、バリアフリーが必要な利用者は受け入れていない。今後、資金や人員が安定次第バリアフリー化を進めていく予定。
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			管理職を含む職員間で事業計画会議を行い、結果を踏まえて目標設定・振り返りを行っている。職員が参画し易いように、発言以外にもそれぞれが目標に対してどのように考えているのかを聴取し、意見のすり合わせをしている。
5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		初年度のため実績はないが、現在進行中。
6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		初年度のため実績はないが、現在進行中。
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	検討中。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修や勉強会の受講の機会を確保している。社内勉強会を実施して外部研修を受講していない者も技術、資質共に向上できるようにしている。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			モニタリング期間でアセスメントを行い、保護者のニーズを把握するためフェイスシートを記入していただき相談のうえで放課後等デイサービス計画を作成している。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化させたアセスメントツールを使用しているか	○			太田ステージによる評価を活用した支援をしている。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動担当者が中心となり児発管と共に日案の作成を行っている。作成した日案についてはファイルにて保管し、従業者全体で把握できるようにしている。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			その日の天候や利用者・人数を把握したうえで日案の作成を行っている。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は主に個別活動と集団活動を行い、休日、長期休暇では個別活動、集団活動に代わって公園や児童館、社会科見学を行っている。

14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個々の利用者のアセスメントを元に個別プログラムを検討し、個別課題の作成。利用者・人数により集団活動を決めて行っている。個別・集団での課題を適切に把握し、放課後等デイサービス計画を作成している。
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		日案の確認や担当の把握、送迎時間等を確認している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		支援終了後には職員間で支援の振り返りや気になる事、気づいた事等を共有している。また、利用記録を記入することにより利用状況を全体で把握できるようにしている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別ファイルを作成して利用記録にて日々の様子を記録している。利用記録を記入することにより全体で利用状況を把握できるようにし、ケース会議の際には個別ファイルを元に利用状況を確認して支援の検討・改善につなげている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		開所して間もないため、実績はないが、期間を定めてモニタリングの実施予定あり。モニタリングの時期に支援計画を見直しを行う。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		自立支援・日常生活の充実の支援、創作活動、余暇の提供については、日々の支援で行っている。 “地域交流の機会の提供”について、今後は地域ボランティアの受け入れを考えている。(社協に連絡済)
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		相談支援事業所を介して契約している利用者がいない(セルフプランで利用している)ため、サービス担当者会議はできていないが、必要に応じ、支援統一のため学校や併用他事業所等との連携を図っている。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定などの交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		お便り帳や学校便り、HPで行事予定や下校時刻の把握をしている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在、医療的ケアが必要な利用者はいない。受け入れる際は主治医との連絡体制を整える。
23	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所などとの間で情報共有と相互理解に努めているか	○		新入生の受け入れ実績はないが、今後受け入れる際は保護者の同意のもと、情報共有する。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所などへ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供する等しているか	○		卒業生がいないため実績はないが、今後卒業する際は情報提供をする。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	○		市内に児童発達支援センターはないが、専門機関と連携し、助言をもらったり、研修に参加したりしている。今後も児童発達に関する研修に参加する予定。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		積極的に児童館に行ったり、そのイベントに参加したりしている。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		市内に地域自立支援協議会がないためできていない。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に利用の様子や気になる事等を伝えて情報共有している。今後はさらに面談を通して課題や目標を話し合っていく予定。

29	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		まだ保護者へのペアレントトレーニングは行っていないが、まずは日々のコミュニケーションでより良い信頼関係を築き、ペアレントトレーニング研修を受講するなど実施できるものから行いたい。
30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		見学や体験の機会を設けて支援内容や費用などの説明、施設内の環境などを知らせていただき、契約時には運営規定や重要事項等の説明を行っている。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		相談された内容を共有・会議し適切に対応している。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		法人のボランティアやイベント等で機会を設けていきたい。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		契約時に苦情に対する連絡体制について説明すると共に、保護者に対し配布する契約書類にも記入してある旨を伝えて周知している。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		月に一回のおたよりや、毎日のブログで日々の活動の様子を発信している。
35	個人情報に十分注意しているか		○		個人名や住所等が記載されている物については事務所内のみの閲覧としている。また、インターネットやブログなどを公表する際には、管理者が内容や写真等を確認し、細心の注意を払っている。個別ファイルは鍵付きの書庫に保管している。
36	障害のある子どもや保護者と意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		利用者一人一人に合ったコミュニケーションツールを使用している。保護者とは送迎時やお便り帳を通して情報共有を行っている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		現状では行事を行っていない。今後は開催を検討している。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、いつでも閲覧できるように施設出入りに設置している。事業計画会議の際には内容の再確認を行った。保護者には周知し、いつでも閲覧できるようにしている。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		避難訓練は年2回(3月、9月)行っている。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		事業所内での研修は行っている。今後は県の研修等に参加する予定。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束の同意書を利用者の様子により個々に作成し、保護者に周知している。また、やむをえず身体拘束を行った場合には管理者に報告し、保護者に対し身体拘束の状況や時間等を報告するように義務付けている。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		現在、食物アレルギーで配慮の必要な利用者はいない。受け入れる際は医師の指示書に基づく対応をする。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハットは全体で作成しファイルにまとめて事務所にて保管している。また、ヒヤリハットが出た際には状況や改善点などを会議して検討、改善している。